

健康保険組合の健康セミナーでは、平日夕方から1時間半、どなたでも参加しやすい健康に関するテーマについて、専門の講師をお招きしてレクチャーをいただいています。

今回は、アートセラピーを体験していただきます。色彩をつかって、自分のところを溶かしたり、見つめたり、、、そんなひとときを体験してみませんか。

アートセラピーは、芸術療法のひとつとして、イギリスやアメリカ、カナダなど海外では精神科領域を中心に発達し、日本でも震災後のケアなどをきっかけに認知されるようになりました。治療を目的としたものばかりでなく、子どもやシニア世代、健康な方々の自己発見や自己成長にも役立っています。

日 時 : 平成30年6月21日 (木) 17:45~19:15 (途中退出・途中参加可)

場 所 : 大学池袋キャンパス 12号館地下 第1・第2会議室

持ち物等 : ありません。材料・道具などはこちらで用意します。

色鉛筆やクレヨンを使用。

好きな画材があれば、ご持参くださっても構いません。

申し込み : 前日まで受け付けています。お電話にてお申込みください。

(健保事務室開室時間内)

03-3985-2760 (内線2760)

対 象 者 : 立教健保の被保険者、被扶養者の方 (小学生以上のお子さんの同伴可)



講師 : 柴崎 嘉寿隆 (しばさき かずたか) 先生

立教大学経済学部卒。クエスト総合研究所代表、NPO法人こども未来研究所理事長、

JIPATTディレクター(Japan International Program of Art Therapy in Tokyo Director)、

アートワークセラピー講座/アートアウェアネスコース講師

アート表現には「みえない心にかたちを与える力」があると言われる
ます。アートといっても何か特別なものではなく、絵のうまい・へた
ということも関係ありません。気軽に楽しみながら、思いを表現する
ことで、新しい自分や人とのかかわりを発見できるかもしれません。

今回は、久しぶりの母校で皆さんにお会いできることを楽しみに
しています。



ユング、エリクソン、アドラーなどの心理学、さらに東洋思想を織り交ぜた独自のプログラムによるメソッドで、800名以上のアートワークセラピストの育成や子どもたちの自立を目的とした野外体験学習(グロースセミナー)を提供し、企業や教育関係者向けの講演活動を行っている。ファンタジーや児童文学を題材にした心理分析にも定評があり、難解な心理学をわかりやすく解説し、現実に即活かせる講座を数々生み出してきた。また、小中学生向けの自立のセミナーは、子どもだけでなく保護者にも評価され約30年継続している。

著書 「自分セラピー/自分を好きになれる本」(K.K. ロングセラーズ)

「自分セラピー/幸せな自分に出会える本」(K.K. ロングセラーズ)